

年頭のごあいさつ

鞍手町長 柴田好輝



新年明けましておめでとございます。町民の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、平素から町行政の推進に温かいご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

早いもので、昨年3月の東日本大震災から約10か月が経過いたしました。震災では多くの尊い命が奪われ、現在も避難生活を余儀なくされている方々が多くおられます。また、9月の台風12号では、西日本から北日本にかけての広い範囲で、これまでの観測記録を大幅に上回る大雨が甚大な被害をもたらしました。被災者の皆様には、心からお見舞いを申

謹んで新年のお慶びを申し上げます 平成24年元旦

し上げますとともに、被災地の一日も早い復興を願っております。

さて、国内外の社会情勢を見ますと、ギリシャに端を発する深刻な金融・経済危機は、ユーロ圏のみならず世界中に大きな打撃を与え、日本経済も円高により先行きは不透明な状況であります。

国においては厳しい財政事情はあるものの、被災地の復興を急がなければならない状況があることから、地方財政への影響もかなり厳しいものが見込まれます。また、TPP参加の問題や消費税増税の論議なども活発化してきており、企業活動や国民生活に及ぼす影響も計り知れません。

現在、本町では、町民の皆様のご理解とご協力をいただきながら、第5次行政財

改革プランによる改革・改善を進め、簡素で効率的な行政運営に取り組み一方、第4次鞍手町総合計画後期基本計画においては、重点的、優先的に実施する基本的な町の施策を位置づけ、産業振興や住民福祉の向上に向けて各種事業を展開しております。

厳しい社会情勢の中にあっても、本町においては、昨年2月に鞍手インターチェンジが開通し、遠賀川渡河橋についても建設工事が進んでおり、本町発展の原動力となる重要な社会資本が着々と整備されつつあるという光明もあります。

町としましては、これからのまちづくりにおいて、これらの新たな社会資本を有効に活用し、企業誘致、住宅団地の整備、商

工業の振興などに積極的に取り組んでまい

る所存であります。今年も、町民の皆様と力を合わせ、知恵を出し合い、協働と互助を基本に、将来につながる自立したまちづくりのため全力を注いでまいりますので、より一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

また、町では、東日本大震災などの災害や大雨により各地で発生した土砂災害などを教訓に、町民の安全と安心を確保していくための取り組みを進めております。自助・共助・公助の視点から、町民の皆さんにおかれましても自らできることについて、また、各地域においては現在設立を進めています自主防災組織を核とした地域の協力体

制について、今一度考えてみていただきたいと思っております。

終わりに、皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げますとともに、新しい年が町民の皆様と鞍手町のさらなる飛躍の年となりますよう祈念申し上げます、新年のあいさつといたします。

